

はじめに

- 1 そのことば 伝わってますか？
- 2 フラッシュ型教材とは
- 3 フラッシュ型教材の作成

学習が分かる

学習が分からない

指示・  
発問・説明  
が分かる

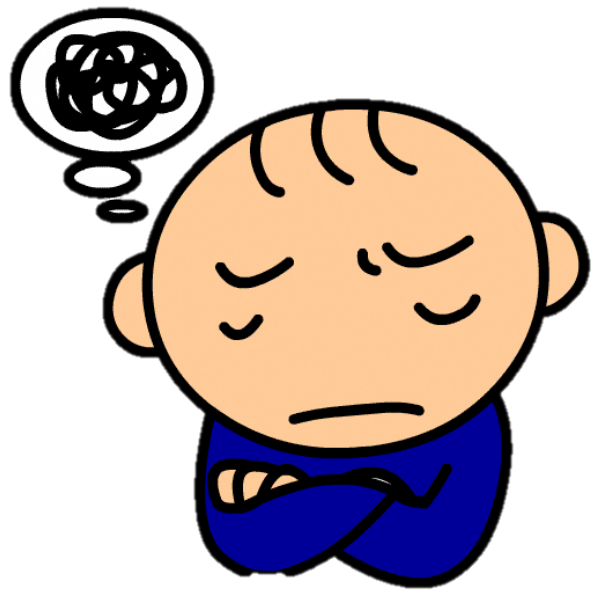
指示・  
発問・説明  
が分からない



内容が  
分かる

内容が  
分からない

## 学習がわからず困っている？



## 子どもがどこで困っている？

何に困っているかを見抜き、  
どうすれば困らなくなるか考える

- ① 肯定的な表現
- ② 分かるための手がかり
- ③ 注目できる
- ④ 区切りがわかる



児童にとって  
分かりやすい

次は何だっけ

〇〇しよう!

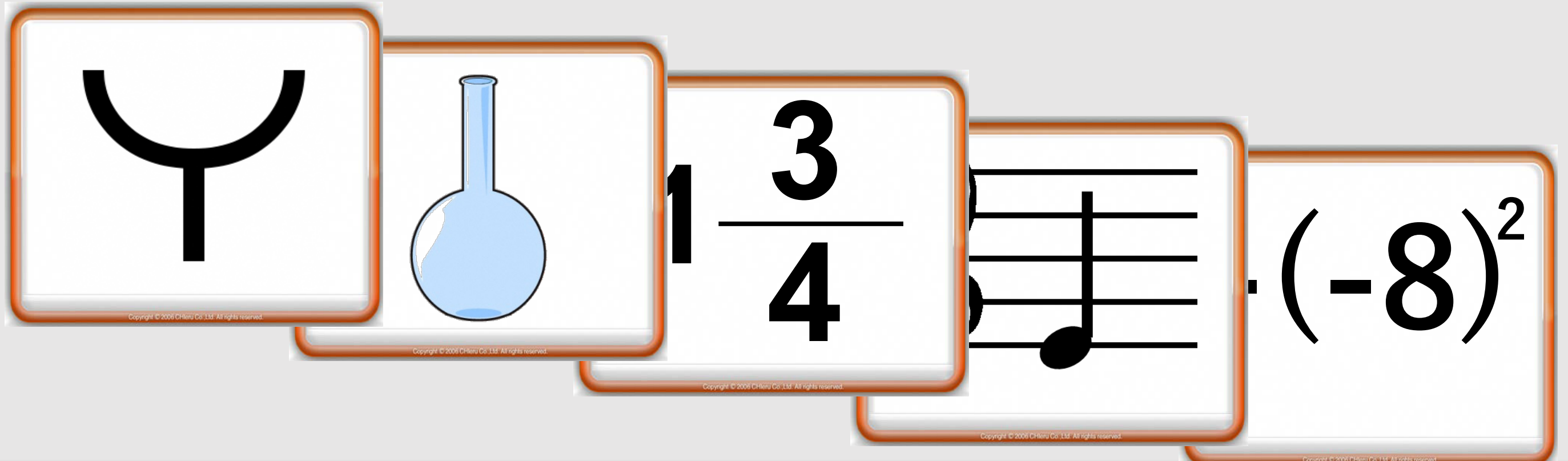
ここに注目!

これでおしまい



長い話し言葉での指示よりも、**短い言葉**  
**による指示と併せて、視覚的な指示と教**  
**材提示が効果的なことがある。**そこで、  
児童生徒の興味を引き付ける**視覚支援の**  
**情報機器の活用**が考えられる。

教育の情報化に関する手引（文科省）P.200



課題を瞬時に次々と提示するデジタル教材

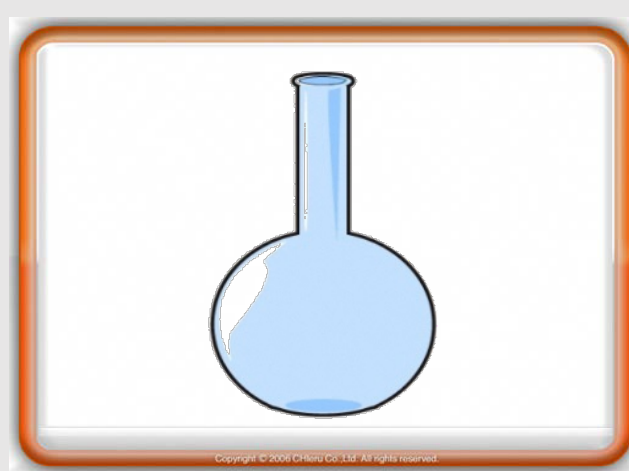
「教育の情報化に関する手引（文部科学省）」より



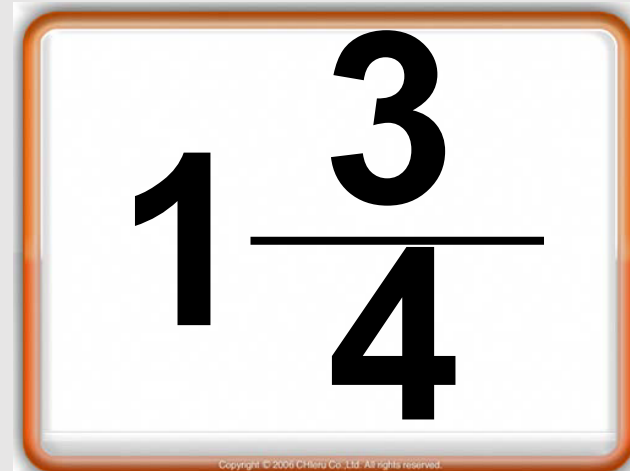
## 小学校



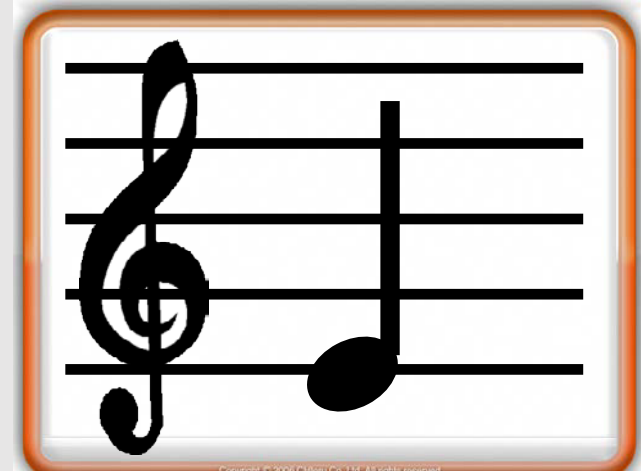
都道府県



実験器具

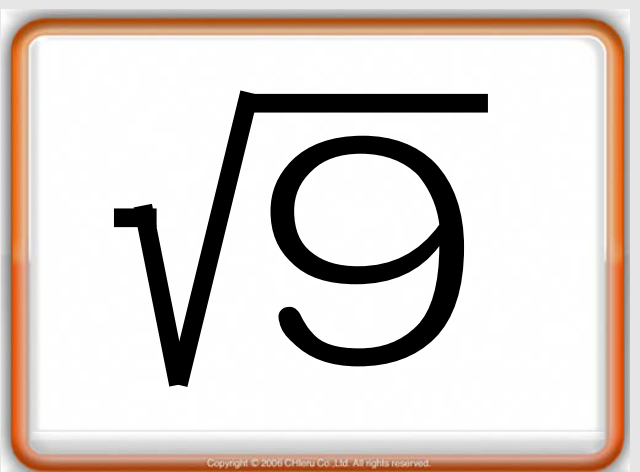


帯分数



階名

## 中学校



計算



陰暦



英単語



歴史年号

- 1 テーマを決める
- 2 PowerPointを起動する
- 3 指示のページをつくる
- 4 各ページをつくる
- 5 スライドショーで確認する

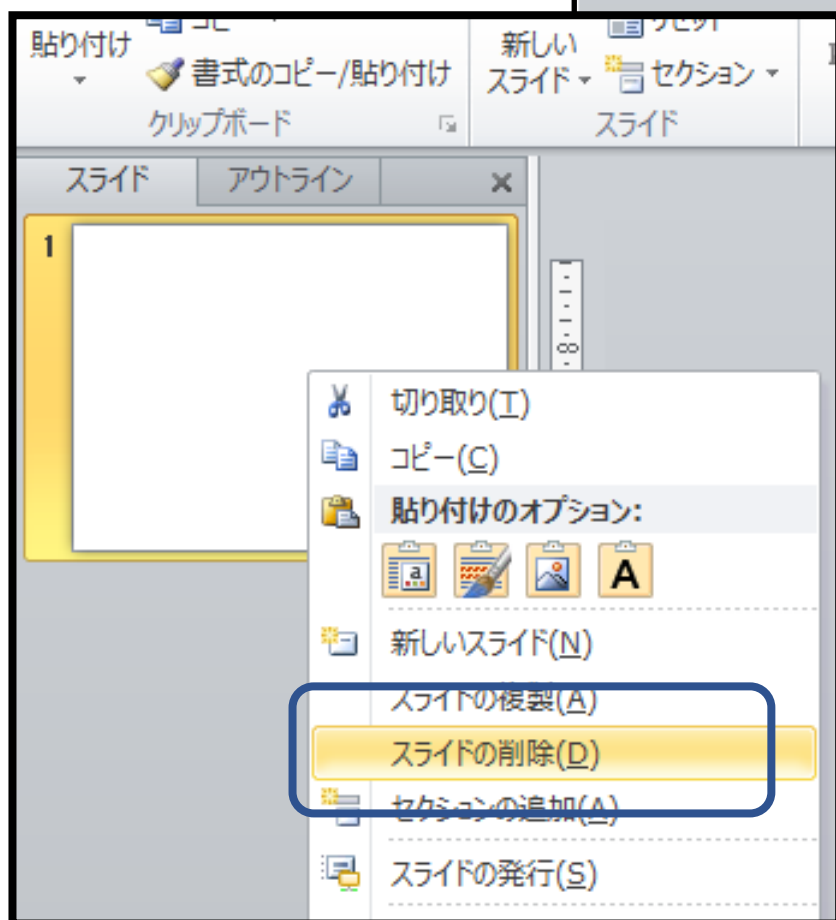
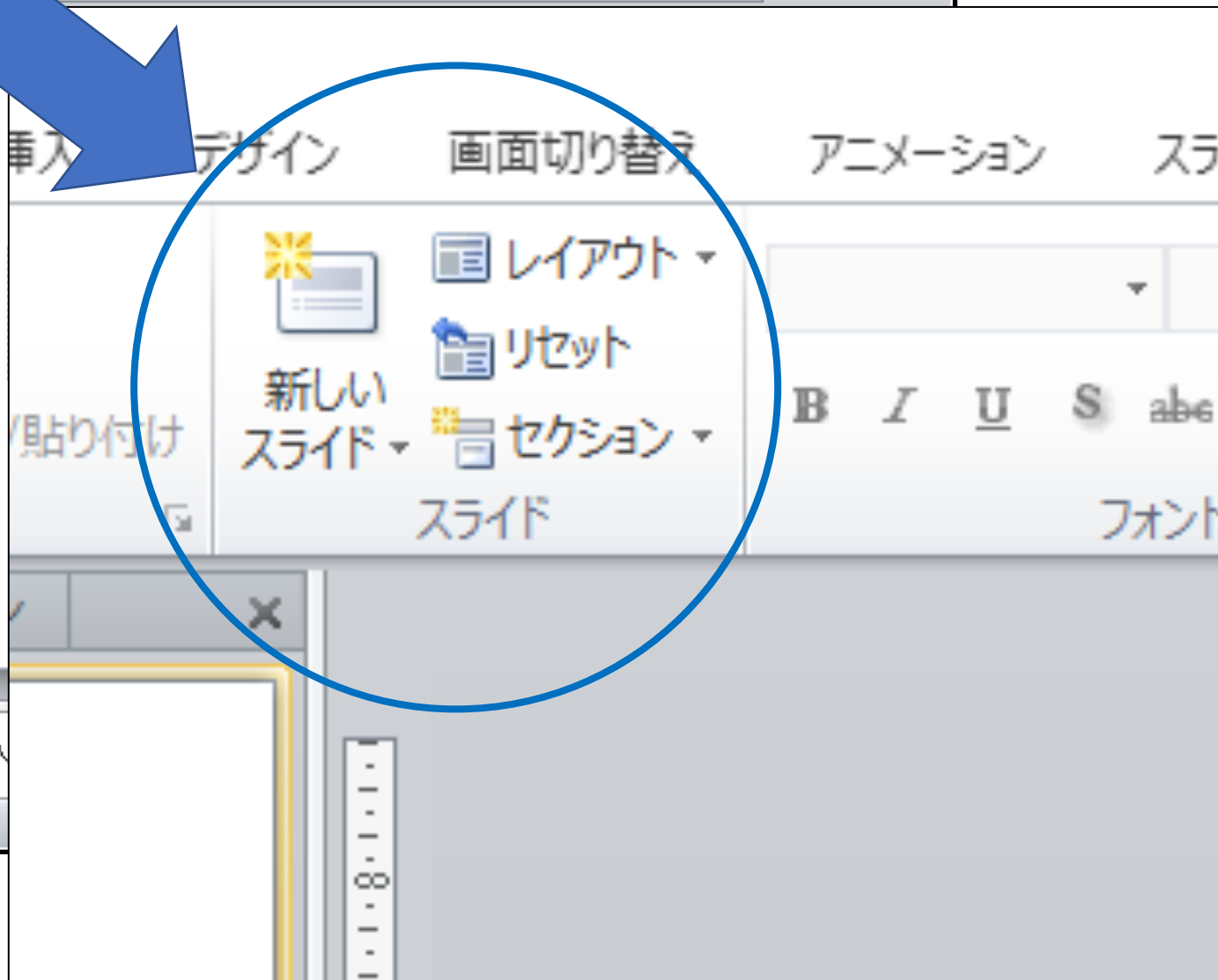
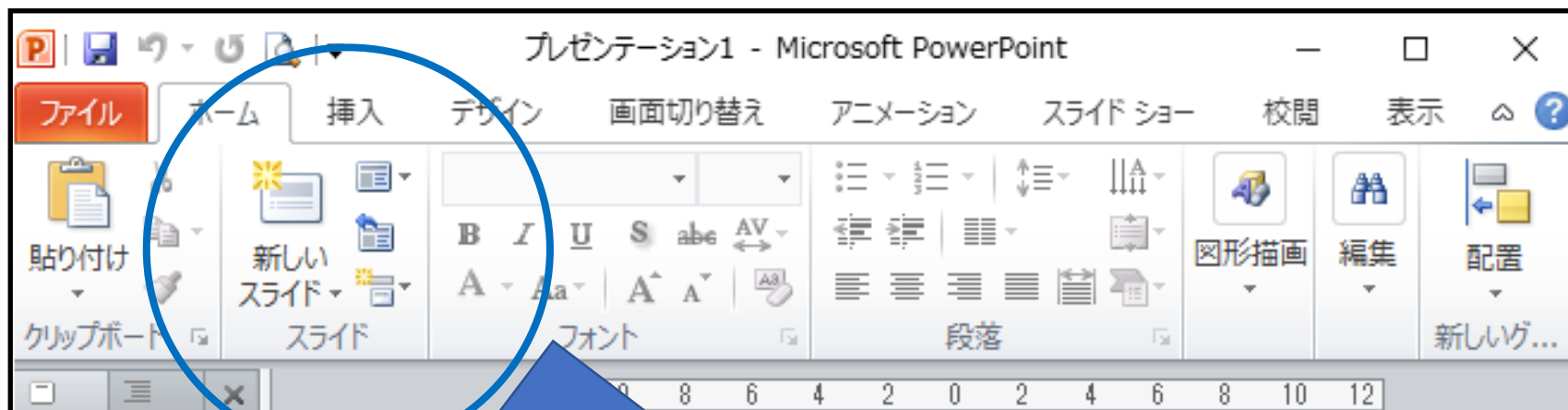


## ポイント

- **漢字の読み**
- **道具や器具の名前**
- **地図記号**
- **英単語**

**など一問一答で答えられるもの**

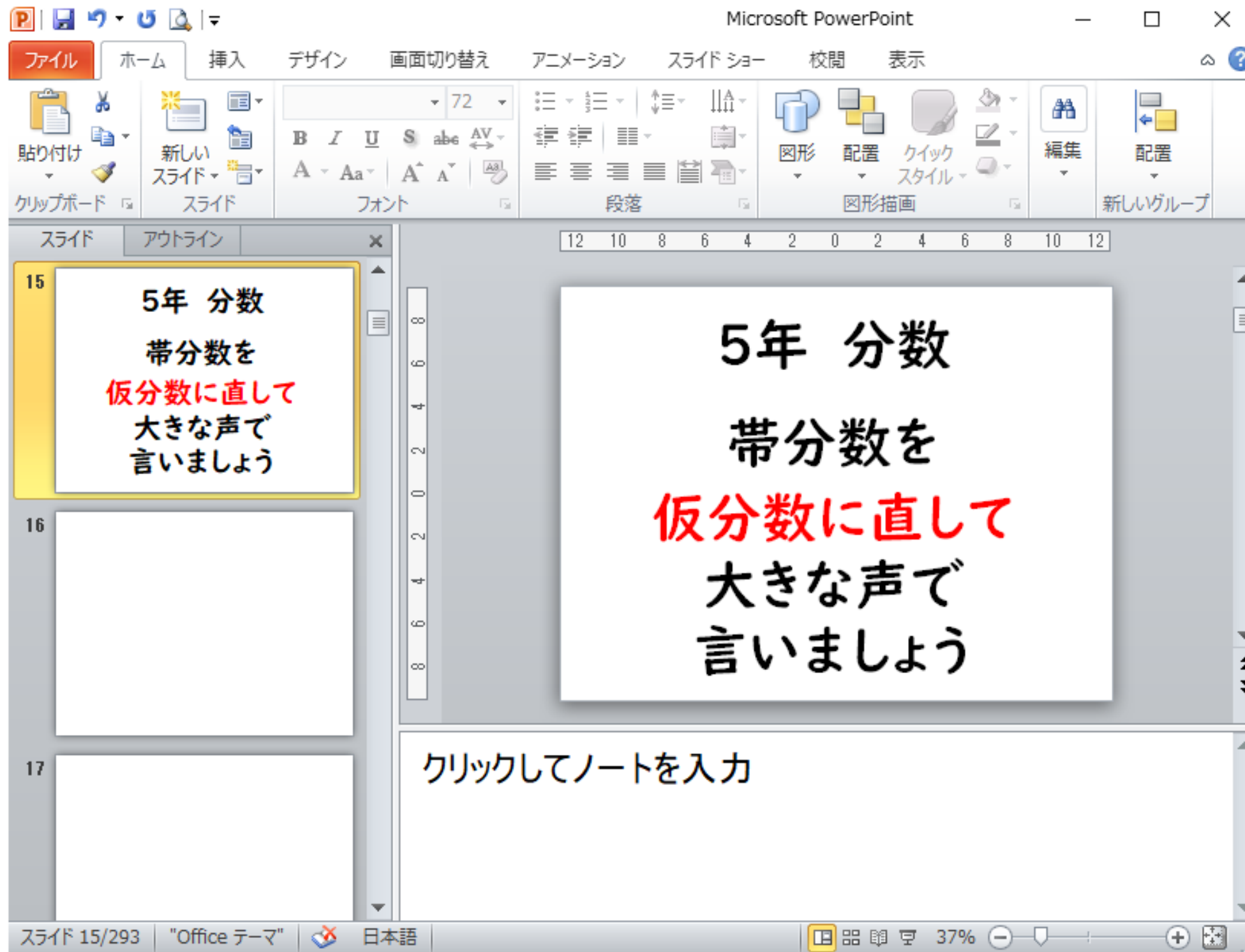
# 2 PowerPointを起動する



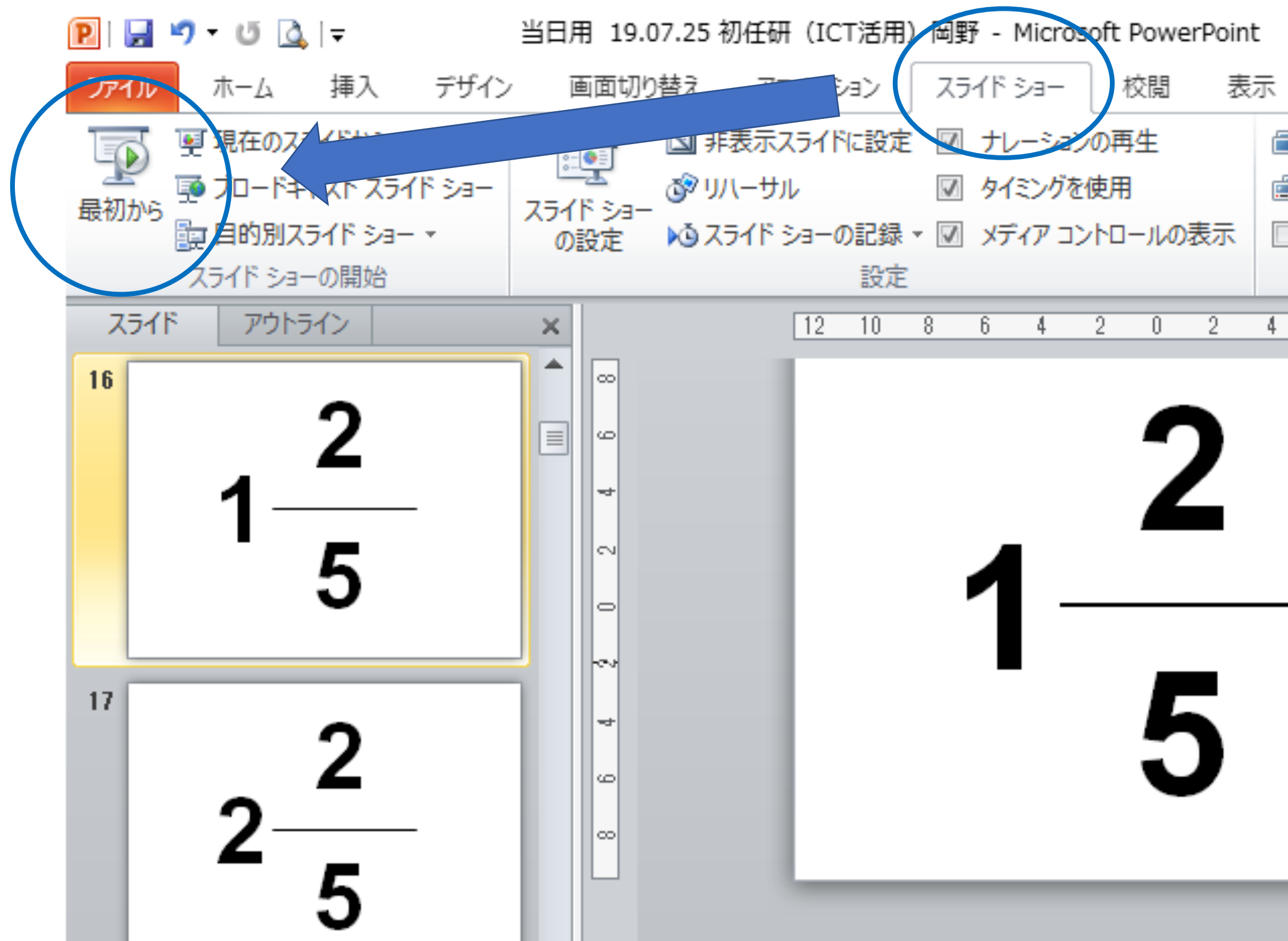
- 指示は分かりやすい言葉で、短く伝えましょう。
- できるだけ、指示は一つ。複数のことを指示すると印象が薄まります。

おおきな こえで  
いいましょう。

# 4 各ページをつくる①



The screenshot shows the Microsoft PowerPoint interface. The ribbon includes tabs for 'ファイル' (File), 'ホーム' (Home), '挿入' (Insert), 'デザイン' (Design), '画面切り替え' (Slide Sorter), 'アニメーション' (Animations), 'スライドショー' (Slide Show), '校閲' (Review), and '表示' (View). The ribbon is currently set to 'ホーム' (Home), with sub-tabs for '貼り付け' (Paste), '新しいスライド' (New Slide), 'フォント' (Font), '段落' (Paragraph), '図形' (Shapes), '配置' (Layout), 'クイックスタイル' (Quick Styles), '編集' (Edit), and '配置' (Layout). The main slide area displays a fraction  $\frac{1}{5}$  with the numerator '1' and denominator '5' in a large font. The slide number '16' is visible in the top left corner of the slide. Below the slide, there is a note area with the text 'クリックしてノートを入力' (Click to enter notes). The status bar at the bottom shows 'スライド 16/293', 'Office テーマ', '日本語', and a zoom level of 37%.



答えが一つ！

→ 声こそろろ、メリハリが生まれる

問題順は「易」から「難」

→ 子どもの実態を想定し、答えを予測

繰り返し、確実に習得！

→ 「できない…」が「できる！」に変わる



## ○ 授業のようすは

- ・ テンポよく、変化に富んだ繰り返し学習
- ・ **明るい声**と**ほめ言葉**で活気があふれる

## ○ 児童生徒は

- ・ 顔が上がり、意欲がわく
- ・ 繰り返しによって、**基礎基本の定着**
- ・ 自信をもって声が出せる

## ○ 授業者は

- ・ 教材の作成、修正、保存、共有が容易
- ・ 児童生徒をイメージして

すぐに答えられる問題を作る！ → **授業力UP!**

時間は  
5~10  
分

はじめに

- 1 そのことば 伝わってますか？
- 2 フラッシュ型教材とは
- 3 フラッシュ型教材を作成する